

福山山岳会が創立100周年

初代会長は藤井與一右衛門氏 豪商「くろがねや」の当主

第1回目と同じ熊ヶ峰に登山 藤井氏縁の「後山山荘」訪問

備後と井笠地区の登山愛好家で作る「福山山岳会」事務局は福山市北本庄2丁43、大田祐介会長。福山市議会議員、本誌コラム「祐介の目」執筆者、会員280人、電090・33

73・2684)は、創立100周年を迎え、大田会長ら約80人の会員が2月23日に記念登山を行った。

豪商「くろがねや」当主だった初代会長の藤井與一右衛門



藤井初代会長ゆかりの「後山山荘」でカメラにおさまる福山山岳会の会員。一番手前が大田祐介会長

(よいちえもん)氏に敬意を払い、1919年の同じ日に行われた第1回目登山と同じ熊ヶ峰(標高4308m)に登り、グリーンラインにある「ファミリパーク」で記念植樹を行った。下山途中には同市鞆町にある藤井氏ゆかりの「後山山荘」を訪ね、初代会長を思んだ。

同山荘は、藤井氏の弟で日本を代表する建築家・藤井厚二氏が兄のためにつくった昭和初期の「鞆別荘」で、現代建築家・前田圭介氏(UID一級建築士事務所代表)が2013年に再生した。見学には予約が必要で、当日はボランティア組織「後山山荘倶楽部」(松隈章・谷藤史彦共同代表)のメンバーが対応した。

大田会長は「戦前から戦後にかけて福山の経済界をリードした藤井氏は、登山などのスポーツや芸術にも造詣が深く、後山山荘には漢詩『鞆八景』が残されている。改めて藤井氏のスケールの大きさを知ると同時に、今後、顕彰すべきではないかと痛感した」と述べた。

記念のガイド本も発行 備後圏等の山岳C紹介

なお、福山山岳会は創立100周年を記念し、備後圏などにある106の山岳コースを紹介したガイド本「コースガイド100」を発行した。A4版2



1968年5月に福山城公園において福山山岳会の主管で開催された第4回「広島県登山体育大会」で挨拶する藤井会長(中央)。その右が徳永豊・福山市長(いずれも当時)

24ページ。価格は2千円(税別)。啓文社各店で発売中。